人がどう感じるか、心にどう訴えるかを大切にしながら情感豊かな光環境をつくりたいと思っています。

松本 浩作　照明デザイナー

今回は、関西を拠点に、商業施設やホテル、結婚式場、オフィスビルなど様々な分野の照明デザインを手がけ、また、大阪を中心に光の啓蒙活動を行なっている団体LIDA（照明設計者協会）の設立発起メンバーの一人でいらっしゃるなど、幅広く活躍されている照明デザイナー、松本浩作さんをご紹介いたします。

松本さんは照明デザイナーとして長く活躍されていらっしゃいますが、これまでのキャリアを簡単にお聞かせ下さい。

松本　私は高校時代工業高校で電気を学び、芸術大学を卒業後、大光電機株式会社TACT 企画室に入社、6 年程在籍した後、株式会社木谷デザイン事務所に入所しました。企業のインハウスデザイナーとして様々なプロジェクトに携わることで照明デザインの基本を学ぶことが出来、また木谷デザイン事務所で、光へのこだわり、デザインビジネスとしての照明デザイナーの在り方やプレゼンテーションの重要さなど、多くのことを学ぶことが出来たことは、私の原点になっていると思います。ちょうどその頃はバブルに向かう成長期の時期で、今では考えられない程たくさんの特注照明器具のデザインを手掛けることが出来たのも良い経験となりました。その後 37 歳の時に独立して、スタイルマテックを設立、現在に至っています。照明デザインを生業として、気がつけば早 30 年が経ちました。

様々な空間の照明設計、照明コンサルタントを手掛けていらっしゃるとともに、照明の普及活動にも熱心に取り組んでいらっしゃると伺いました。松本さんが中心メンバーとなり活動されている〈LIDA（照明設計者協会）〉について、お教え下さい。

松本　LIDA（照明設計者協会）は、照明デザインに携わる者が中心となり、照明を取り囲む環境を少しずつでも向上していくことを目的とした組織で、2000年に設立しました。光の啓蒙活動と言っても、決して堅苦しいものではなく、来るものは拒まずという考えで、デザイナーに限らず照明に関わる様々な職種の方々に参加いただき、研修会や交流会を定期的に開催しています。つい先日も、照明デザイナー数人によるミラノサローネ報告会を開催しました。情報交換を行なったり、交流会という名目のもと皆で食事をしたりと、楽しみながら活動しています。

LED照明の急速な普及とともに照明の世界は変化しつつありますが、照明デザイナーとして最近の状況をどのように感じていらっしゃいますか。

松本　特にこの 2 年程でLED照明は我々の想像以上のスピードで進化したと思います。2 年位前までは、光量としてもまだまだ不足気味で、各メーカーによって演色性や色温度などにバラつきがあり、使う側としては細心の注意を払い、設計段階でも現物確認やモックアップによる照明実験などが欠かせませんでしたが、最近はLED照明の質も高くなってきました。とは言え、まだまだ現段階では従来光源の代替えとして使用されているケースが多いようですが、今後はもっとLEDならではの特徴を生かした照明提案をしていくことが、照明デザイナーの役割だと考えています。光の波長をコントロールすることで、たとえば、肌を美しく見せる光や太陽スペクトルのような光など、波長を制御した新しい光をつくり出すことが可能なLEDは、これからもまだまだ大きな可能性を秘めていると思います。

照明デザイナーとして、大切にされていることは何ですか。今後の抱負と併せてお聞かせ下さい。

松本　光には形がなく、何かに照射しないと存在がわからないので、照明デザインの仕事は自分の作ろうとする光を伝えるのが難しいのですが、「オノマトペ」の様な表現を利用したりして、出来るだけわかりやすい表現で伝えることを心がけています。クライアントが求めているのは何かを十分に把握した上で、それがどのような空間であれ、その場にふさわしい光を具現化していくことが私の役目で、これまで培ってきた経験とたくさんの想いをもって、常に取り組んでいます。好きな光は、ある種の空気感、情感が感じられる光で、気持ち良いと思える光環境が大事だと思います。私が照明デザインを手掛けた空間について、時々、色っぽさがあると評されることがあり、そうした情感を隠し味として使っていきたいと考えています。ホテルや結婚式場、商業施設などの仕事が多く、また、病院、老人福祉施設や図書館と様々な空間の照明デザインを手掛けていますが、今後は美術館の照明デザインも機会があれば手掛けてみたいと思います。人がどう感じるか、心にどう訴えるかを大切にしながら、これからもたくさんの場所で心地良い光環境の提案をし続けていきたいと思っています。

1. 京都センチュリーホテル
撮影:ナカサアンドパートナーズ 志摩大輔
2. ストラスブルゴ グランフロント大阪店
撮影：ナカサアンドパートナーズ 仲佐猛
3. 阪急百貨店梅田本店

Profile

松本 浩作（まつもと こうさく）

1961年　香川県高松市に生まれる。
1983年　九州産業大学 芸術学部デザイン学科（ID専攻）、卒業。
大光電機株式会社TACTデザイン室に入社。
多くの照明計画プロジェクトや商品開発を担当。
1989年　株式会社木谷デザイン事務所に入所。
1990年　同社取締役 ディレクターとして、以後多くの照明プロジェクトを担当。
傍らでプロダクトデザインの製品開発をも担当する。
1997年　社団法人日本インテリアデザイナー協会JID賞インテリアスペース部門を受賞。
1998年～同社退社、有限会社スタイルマテック設立。
現在代表取締役として照明を基軸にあらゆるデザイン活動に参加、関西を基軸に活躍中。

(社)照明学会、照明普及会での優秀照明施設賞をはじめとして、景観照明感謝賞など多数受賞。

2013年神戸市夜間形成アドバイザー
2012年大阪府御堂筋イルミネーションコンペティションデザイン検討会委員
2011年大阪府御堂筋イルミネーションデザイン検討会委員
武庫川女子大学建築学科、非常勤講師
京都芸術デザイン専門学校、特別講師

所属団体
社団法人照明学会 正会員
IALD国際照明デザイナー協会 アソシエイト会員
北米照明学会(IES)正会員
公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)正会員
一般社団法人日本商環境設計者協会(JCD)正会員
関西照明設計協会(LIDA)正会員 幹事役員